

2024年度第1回須坂市部活動地域移行検討協議会議事録

○日時 2024年5月28日(火) 16:00～17:20

○場所 須坂市人権交流センター2階会議室

○出席者

【協議会委員】 出席18人

【オブザーバー】 1人

【要領6による出席者】 1人

【事務局出席者】 6人

全体進行(教育次長)

1 開 会

2 あいさつ

(教育長)

昨年度の協議会で、運営主体は須坂市教育委員会で、運営形態は教育委員会が地域団体や地域の指導者と連携し、運営する地域団体・人材活用型に決めていただきました。いよいよ今年度は、地域クラブ運営の体制整備について協議いただく年度になります。

対象になります中学の生徒さんたちは、世の中でたった一人の自分をどんな自分に育てていくか。それを決めるのは自分自身であると言われる時期です。

この地域クラブ活動は、中学生が地域の人と繋がりながら、スポーツや文化活動に自主的・主体的に取り組み、勝ち負けや出来栄のみにこだわらず没頭する。言い換えれば、将来に向けた人づくりの面からも大変価値がある学びや経験の場だと感じております。

先日の須坂新聞を見られた方も多いと思いますが、須坂市の地域クラブの記事が掲載されておりました。その中で本協議会の委員でもあります地域クラブ代表者は、「指導者の役割は、生徒たちが達成したい目標に向かっていくための援助。須坂アスレチッククラブは生徒がやりたいことができる。」と語っておられました。

この言葉に私は大変心が動かされました。おそらくクラブに参加している生徒さんたちは自主的に学んでいるのだらうと思い、大変嬉しく思ったところでございます。

本年度、協議会の皆さんにご協議いただく内容は、大変難しい部分もあるかと思
います。ぜひ経験豊富な委員の皆様の英知により、この協議を深めていただい
れば幸いと存じます。今日はよろしくお願いいたします。

3 協議会要領・日程等について

部活動地域移行コーディネーターから「須坂市部活動地域移行検討協議会要
領」、「2024年度須坂市部活動地域移行検討協議会日程」及び「2024年度中学校
部活動入部者数」について説明した。

(質問意見等なし)

4 協議会委員について

部活動地域移行コーディネーターから「2024年度須坂市部活動地域移行検討協
議会委員」について説明した。

(質問意見等なし)

5 座長及び副座長の選出

事務局から昨年度の座長及び副座長に今年度も引き続きお願いしたい旨を提案
し、委員の了承を得た。

6 議事(進行 座長)

協議会要領6により、座長から高校教諭のA氏の出席を求め、会議に加わることを
説明した。

(1) 須坂市部活動地域移行推進計画案について

部活動地域移行コーディネーターから 須坂市部活動地域移行推進計画案(資料
5)について説明した。

(座長)

この推進計画案は、今日、決定していきたいと思っております。まず質問ありますで
しょうか。補足しますが、3ページの③の長野県の中学生の運動部加入率が2016年
から2022年まで出ています。須坂市は2023年度が45%、2024年度が41%。全
県よりも須坂市の方が運動部加入率は低いです。特に女子の加入率がここ数年低い
状況にあります。

また、その下の(2)の①少子化現状ですが、昨年度の出生が268人と説明されましたが、特にここ3年間はどの市町村も減少しています。そのような現状を踏まえて案を出していただきました。

また、先ほどの地域クラブの活動指針のところ、まずは現在行っている部活動の移行を目指し、その上で新たな種目等について検討していくことについて話していただきました。

そして、活動場所については、生徒本人又は保護者の送迎ができない場合について検討していくこと、あと、保護者の負担も可能な限り負担が少なくなるようにしていくということを説明していただきました。

あと、参加は自由意志で、複数の種目も選択できるということも話をしていただきました。ちょうど去年から中体連の規約でも何種目でも大会に出られることになってきました。実際、二つの部活に入っている生徒もいます。それも受けてこのように計画の方を作っていただきました。どこからでも質問ありましたらお願いします。

(B委員)

10ページの③活動場所のことですが、部活動の地域移行協議会の報告を各種会議の中で報告する中で、各団体から言われているのが活動場所のことです。学校の体育施設は解放していますので、他の団体なども使うのですが、ここを見ると学校、公共スポーツ施設、社会教育施設等を確保しますと記載されているので、一番は優先で取れるのかということを今までの会議の中で聞かれていて、文化スポーツ課長は、今後この協議会の中で決まっていくのではないかと回答でした。「確保します」とは、どんなニュアンスか教えてほしい。

(部活動地域移行コーディネーター)

今は平日も休日も学校部活動をやっている状態で、それと同じ使い方をさせていただくということです。これについては今後またご意見いただく中で決めていけばいいと考えています。

(座長)

それは平日の夕方のことを言っていますか。

(B委員)

今まで部活の延長から社会体育に切り替えていくようなイメージだったので、それが今後どうなっていくのかという疑問が各団体にあるのかと思います。

(座長)

今、各方面で指導者の確保が必要となっています。土日は何とかできるけど、なかなか平日の指導者の確保が難しいという問題が出ています。例えば、午後7時から9時だったら都合がつくけど、今生徒たちが活動している午後4時半からは行けないということがあり、その活動時間帯が今後どうなっていくかという難しい面もあります。今後は平日の地域移行が問題になってくると思います。また細かい検討を続けなければならぬと思います。

この件については、今日決定したいということですが、この計画案で決定してよろしいでしょうか。(委員了承)それでは計画推進をお願いいたします。

以下の議事につきましては、本日は意見を伺って次回決定したいということです。それでは2番目の部活動に代わる新たな地域クラブ規約案についてお願いします。

(2) 部活動に代わる新たな地域クラブ規約案について(資料6)

部活動地域移行コーディネーターから部活動に代わる新たな地域クラブ規約案(資料6)について説明した。

(座長)

質問ありますでしょうか。確認ですが、5ページの第23条に中学校に部活動のある活動においては中学校の部活動顧問と連携を図りと書いてありますが、平日の移行までの間ということよろしいですか。

(部活動地域移行コーディネーター)

はっきり書いてないですが、部活動が平日も地域移行すれば、この規定はなりません。その時点で規約の改正が必要になります。

(座長)

学校では名簿をまとめたりするので、部活担当とかは残ると思いますが、現在は規定のとおりということです。何か質問ありますでしょうか。

(C委員)

本校に科学部があります。第18条に記載されていません。

(部活動地域移行コーディネーター)

誤りですので訂正したいと思います。

(D委員)

私も気づいたのですが、技術部っていうのは相森中と常盤中であって内容が似ているのかと思って、それを総称したのかと察しましたがいかがですか。

(部活動地域移行コーディネーター)

そこはよく確認して進めていきたいと思います。

(座長)

次回までに様子を聞いてをお願いします。ほかに何かありますでしょうか。私からもう1点確認をお願いします。2ページの第4条第2項の加入条件ですが、(1)の須坂市に在住する中学生又は中学部生とは、須坂市に在住しているけど他市町村の学校に行っているような場合のことかでしょうか。ちょうど去年の卓球大会で須坂市の生徒が長野市の学校に通っていて、一昨年までは長野市で出ていましたが、去年からクラブが大会に出られるようになったので、須坂市のクラブで大会に出ていました。それがさらに進むということによろしいでしょうか。

(部活動地域移行コーディネーター)

はい。そのように考えています。

(座長)

他よろしいですか。

(E委員)

第8条のところに総会において定める会費を納入しなければならないとなっているが、会費はどの種目も一律になるのでしょうか。

(部活動地域移行コーディネーター)

今、検討中です。次回協議会に向けて資料をそろえて皆さんにお示しして、検討していただきたいと思います。今のところはまだ決めていません。競技によってはお金がかかる、かからないもありますので、意見をお聞きしながら決めていきたいと考えております。

(座長)

また次回提案をよろしくをお願いします。他に質問ありますでしょうか。

(B委員)

スポーツ協会の会議の中で出たものですが、5ページの第20条の地域クラブ指導者の定義ですが、指導者登録された者と規定されていますが、その指導者登録の捉え方がスポーツ協会の加盟団体の中でもいろいろ定義の仕方があって、例えばスポーツ少年団ならスポーツ庁が定めた厳密な指導者の資格があって、その登録がないと、そのスポーツ少年団は大会にも出られないようです。そうかと思うとスポーツ庁で

はなく、各競技団体の方で定めた指導者資格でやっているものもあります。この地域クラブは、そこは厳密に言わないということで良いのでしょうか。

(部活動地域移行コーディネーター)

第20条の指導者登録された者とは、第21条に規定していますが、指導者登録届を地域クラブに提出してもらい、会長の承認を受けた方をいいます。ご指摘を受けてわかったのですが、ここは表現を少し変えてもいいかと思いました。指導者について今考えているところでは、日本スポーツ協会とかの資格は必要ないと考えております。熱意があって、子どもたちのことをしっかり見ていただける方であれば登録していきたいと考えております。違う考えもあるかもしれませんので、皆様のご意見をいただければと思っています。あと指導者への研修は、しっかりと準備していきたいと考えております。

(座長)

よろしいでしょうか。中体連は一切資格とか必要としていません。他にありますでしょうか。次回もありますので、またご意見がありましたらシートに記入をお願いします。では次に運営方針についてお願いします。

(3) 部活動に代わる新たな地域クラブ運営方針案について

部活動地域移行コーディネーターから部活動に代わる新たな地域クラブ運営方針案(資料7)について説明した。

(座長)

運営方針案について質問ありますでしょうか。これも次回まで何かありましたらまた教育委員会の方までお願いしたいと思います。では進めさせていただきます。

(4) その他

①指導者の確保、会費、活動場所、活動場所への移動、保護者支援等について部活動地域移行コーディネーターから次のとおり説明した。

(部活動地域移行コーディネーター)

指導者の確保については、今後、各活動団体、競技団体、地域の方や外部コーチなどからお話をお聞きし、協力をお願いしていきたいと考えています。会費については、次回資料を示し検討していただきたいと思います。

活動場所については、それぞれの活動の拠点となる場所について検討していきます。また、活動場所への移動については、相当経費がかかることも考慮し、次回以降検討をお願いしたいと思います。また、保護者への支援については、参加しやすい金額を設定するよう努めるとともに、生徒が経済的理由によって活動への参加を諦めることがないよう困窮家庭への支援について、次回以降検討をお願いします。

(座長)

この活動場所への移動は、この後、試行している陸上の方から 現状を話していただきたいと思います。

1点お願いしたいのですが、私の在籍する学校は、美術部は土日活動をしていません。また、各学校を調べてもらいたいと思いますが、もし土、日に活動をするのであれば、専門的な指導が受けられるのであればやりたいという生徒もいるかもしれません。そういう実態も確認が必要だと思いますのでよろしくお願いします。

② 地域クラブの試行状況の報告

F委員から地域クラブの試行状況について次のとおり報告した。

(F委員)

参加者が活動場所へ来る方法は、各個人毎で保護者が送迎してくることが中心で、場合によっては、保護者が何人かの生徒を乗せて来る、また、何人か乗せて帰っていくこともある。相森中、墨坂中、常盤中の参加者の中には、自転車で来る生徒もいる。

試行の状況は、第1回目から第6回までプリントに書いてある内容で行っている。

休日に合同練習を多くやっている。今まで計14回、試行の他に行っている。

指導者は、都合のつく方で、試行日は8名のうち5、6名ぐらいでやっている。

内容は、お配りした「須坂アスレチッククラブグランドデザイン」に沿っている。

参加者の様子を見ても活動内容については良いと思っているが、これから課題が二つ程出てくると思っている。

一つは「地域クラブの目指す姿」を目指してやっているが、競技会の参加の仕方が変わろうとしている。陸上の県大会へは、各地区で8位までは出場できたが、来年度から標準記録制又はターゲットナンバー制に変わると通達があった。1年間かけてありとあらゆる試合に出て記録を残さないと、大会出場の申請をしても上から32位ま

で切られてしまう。すごい数の中学生の大会が計画されている。我々が今考えている活動内容を大きく変えてしまうのではないかと考えている。

もう一つの課題は、「部活動の地域移行のための地域クラブ」というものの捉え方が、地域クラブへ移行するための受け皿としての地域クラブだと言ってしまうと、全部オッケーになってしまう。簡単に言うと、リレーや駅伝を組むときに、4人全員が違う学校のエースを集めてリレーに出るようなことができてしまう。

須坂アスレチッククラブでも男子共通リレーに出るが、それは、中学校でリレーに出たいけれど、同じ学校に短距離を走る人がいなくて、地域クラブでリレーに出ることはできないかという相談をもらって、教育委員会とも話をし、同じように短距離を走る生徒がいない学校と組んで共通リレーに出場することにした。これが本来の日本中体連で出した大会参加の意味です。

今後、この二つがすごく課題となる。記録とか順位にはこだわらないで活動していきたいのですが、1年間通して試合に出ないと損だという考え方や地域クラブの捉え方によって何でも組み合わせができてしまうということが現実起きてしまう。そういう現状がある中でも何とか遊び場を提供していきたいと思っています。

(座長)

毎週、合同練習をやっているということで、地域クラブの試行は月1回ですが、試行のときは、須坂市の方から謝礼が出ているということです。これがだんだんと増えてきて、3年後には完全移行を目指すということです。陸上に限らず、様々な種目で去年から今年にかけてなかなか難しい現状の中で、地域移行がスタートしています。事務局では他の競技において試行はどう考えていますか。

(部活動地域移行コーディネーター)

体制が整えば、他の種目も地域クラブの試行を行いたいと考えています。今後、検討していく予定です。

(座長)

また、検討をお願いします。以上で議事を終わりにします。

議事終了後、長野県教育委員会からあいさつをいただいた後、第1回須坂市部活動地域移行検討協議会を閉会した。